

令和2年度版 改善計画

学校名：山梨高等学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・会議の中で連絡事項に割かれている時間がまだあるため、Desknets・メール等の積極的な活用を推進する。 ・放課後の会議を授業時間の中で実施できるように日程を工夫する。	・Desknetsやメール等を積極的に使用し、一層の効率化が推進され、教職員にゆとりが生まれている。	①資料の事前配付を進め、ポイントを絞った議論・連絡をする。資料に 会議終了時刻 を記入し時間意識を高める。 会議の8割を業務時間内 に終える。 ②教員相互の連携を図りつつ、会議を縮減し、適切な教育活動が日常化される職場の実現。	A
2	学校行事の負担軽減	・行事の目的や意義を吟味し、効果的効率的に行事が行えるように企画と運営の改善を一層進める。	・教育方針や生徒の状況に沿って、適切な学校行事が十分な準備のもと、全職員の協力体制で効果的に実施されている。	①生徒の実態に合わせて、行事の精選を進め、全職員が協力して意欲的に運営できるよう行事を企画する。 ②すべての職員が意欲的に取り組むことができ、恒常的に改善が図られ、ゆとりある学校行事の運営推進。	B
3	校内組織の見直し	・本年度分掌統合を実施、それを踏まえ業務内容の省力化を行う。	・業務の精選を行い、スリムで効率的な組織の確立が図られている。	①分掌内の業務の点検を行い、課題を探り、改善を図る。 ②実効的な組織による主体的な業務推進。	B
4	業務の効率化	・業務の見直しを行い、より効率的な運営を図る。 ・TeamsやClassiの使用による省力化を促進する。	・各分掌部長のマネジメントや職員の主体的な判断の下、効率的な取り組みができています。	①月2回の「 きずなの日 」を設定する。 Classiを学習活動に積極的に活用 する。 ②積極的な情報機器の活用。	B
5	部活動の負担軽減	・部員数の多寡の状況を把握し、生徒のニーズを踏まえて、適切な活動計画を立案する。 ・本校における適切な部の設置状況を引き続き検討する必要がある。	・生徒の希望と意欲に沿った活発な部の設置と指導体制が整えられている。 ・複数顧問配置と外部指導者活用による指導体制が実現されている。	① 適切な部休日の設定 （週あたり2日、シーズン調整を含む）を行い参加大会の精選をすすめ、生徒及び職員の健康管理への取組を徹底する。 ②生徒数、職員数を踏まえた適切な設置部数の検討、部活動の活性化と有効な資源投下の可能性の検討。	A
6	地域人材の活用	・キャリア教育、総合的な探究の時間、土曜課外などを中心に、外部講師や外部指導者を招聘し、教育活動の深化を図る。	・多様な人材を活用して、本校の特性が高められ、職員の負担軽減がなされ諸活動において生徒、保護者の満足度がより高められる。	①外部人材を招いた活動の成果について適切な評価を行い、生徒のニーズや職員の業務効率の観点から課題を明らかにする。 ②特色ある「開かれた学校」の実現に向けての方策の検討。	A
7	P T A 活動の効率化	・H30に規約改正と組織改革を行い、運営実態に合わせた体制作りに取り組み、活動してきた成果と課題を明らかにする。	・生徒の学習活動と学校生活を支え、望ましい成長を促すような保護者の協力体制が確立されている。	①「開かれた学校」の整備に努め、保護者の参加及び理解協力が適切に得られるような環境を整える。 ②すべての保護者に理解され、協力が得られる学校の確立。	A
8	休暇の積極的取得 時間外勤務の縮減	・職員同士が相互に支援しながら年次有給休暇、特別休暇を取得しやすい職場環境づくりを推進する。	・時間外勤務が縮減され、勤務時間外に業務が設定される場合は適切に振替ができ、必要な休暇が取得しやすい職場の実現がなされている。	①更なる 年次有給休暇の計画的取得の推進 、出勤記録による時間外在校等時間の現況把握を行い、面接等により、職員の勤務改善を促す。 ②恒常的な残留者、休日勤務者の勤務状況改善の促進。	B